

第 77 回手術手技研究会 主催報告
愛知医科大学消化器外科 佐野力

2023 年 5 月 12 日（金）・13 日（土）の 2 日間、ウイंकあいち（愛知県産業労働センター）にて第 77 回手術手技研究会を開催し、盛会のうちに終了いたしました。
ご参加いただきました皆様、ご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

1. 開催概要

学会名	第 77 回手術手技研究会
テーマ	-心技継承- 何をどのように紡いでいくか、繋いでいくか
開催形態	完全現地開催
会期	2023 年 5 月 12 日(金)~13 日(土)
会場	ウイंकあいち(愛知県産業労働センター) 〒450-0002 愛知県名古屋市 中村区名駅 4 丁目 4-38
当番世話人	佐野力(愛知医科大学 消化器外科 教授)
事務局	愛知医科大学 消化器外科 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1-1

テーマを“-心技継承- 何をどのように紡いでいくか、繋いでいくか”、とさせて頂きました。現在までに高難度技術を必要とする手術がどこまで到達しているのか、そして更なる手術の発展のためには、次世代に何を引き継いでいくべきなのかとの思いからテーマを決めさせて頂きました。

また、手術手技研究会では 3 年ぶりとなる完全現地での開催となり、全員懇親会も実施いたしました。

2. プログラム

セッション名	セッション数	演題数
主題Ⅰ	7	14
主題Ⅱ	6	12
エキスパートビデオ	5	5
ビデオ賞	1	6
奨励研究賞／指定研究賞	1	各 1
サージカルフォーラム	19	113

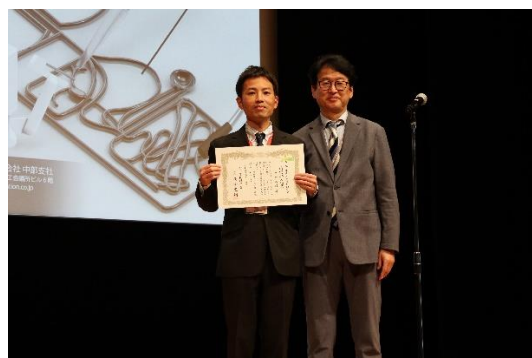
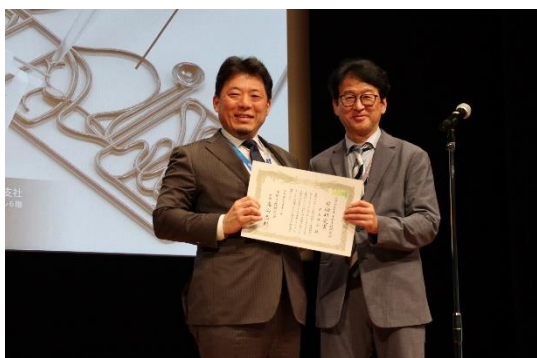
主題Ⅰでは、“外科手術の cutting edge”として、最先端の外科手技を通してどこまで手術治療が進歩しているかを、臓器横断的に議論していただきました。また、主題Ⅱは、“自慢の施設教育プログラム”とし、外科医の手術手技に関する教育プログラムをどのように構築しているのかを各施設からご披露頂きました。

ビデオ賞では各分野から6名の先生が受賞され、ご発表いただきました。



※左から、
 川本 常喬 先生（広島大学腫瘍外科）
 小野 嘉大 先生（がん研有明病院肝胆膵外科）
 原 貴信 先生（長崎大学大学院移植
 ・消化器外科）
 牧野 知紀 先生（大阪大学消化器外科）
 竹山 廣志 先生（市立吹田市民病院）
 吉松 克真 先生（産業医科大学第2外科学）

奨励研究賞では井上陽介先生、指定研究賞では中村達郎先生が受賞され、ご発表いただきました。



左) 奨励研究賞：井上 陽介 先生（公益財団法人 がん研究会 有明病院 肝胆膵外科）
 右) 指定研究賞：中村 達郎 先生（兵庫医科大学）

3. 参加人数

全体で272名の皆様にご参加いただきました。

年代別で見ると40代が1番多く、次いで50代、30代となっております。

年代	登録数	構成比
10代	0	0.0%
20代	5	1.8%
30代	59	21.7%
40代	92	33.8%
50代	86	31.6%
60代	28	10.3%
70代	1	0.4%
80代	0	0.0%
その他・無回答	1	0.4%

4. 企業協賛

第 77 回手術手技研究会の開催にあたり、26 の企業・団体よりご協賛いただきました。
この場を借りて厚く御礼申し上げます。

5. 懇親会

3 年ぶりとなる全員懇親会を会場となったウイנקあいちにて開催いたしました。
名古屋ならではのメニューもご用意させていただき、約 60 名の皆様にご参加いただきました。

中締めには次回大会で当番世話人を務められる中村雅史先生にご挨拶をいただきました。



6. 最後に

伝統ある手術手技研究会の第 77 回当番世話人の大役を務めさせて頂きました事は、私個人のみならず愛知医科大学消化器外科教室にとりまして大変な荣誉であり光栄に存じております。

3 年ぶりの完全現地開催で行え、予想以上の参加者をお迎えできたことは何よりで、今後の学術集会を占うものと思っております。

不行き届きのところは多々あったと存じますが、ご容赦賜れば幸甚です。

テーマと致しました“-心技継承- 何をどのように紡いでいくか、繋いでいくか”について、トップランナーの先生方に十分な議論の下に、若手外科医の目指す方向を指し示し

て頂けたと確信しております。

愛知医科大学消化器外科 佐野 力

ご指導いただきました高山忠利会長ならびに研究会事務局の皆様に深く感謝申し上げ、
主催者報告とさせていただきます。